



# 教会短信

2012年12月9日

No. 48

牧師 間瀬 善彦

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシア（救い主）である」（ルカによる福音書 2:11）。

クリスマスは、わたしたちのために救い主がお生まれになった日です。「ダビデの町」とは、イスラエルの人びとが今日においても尊敬している偉大な王ダビデが生まれた町ベツレヘムという所です。神の尊い御子イエスが人となり、わたしたちを罪から救うためにこの世に来てくださったのです。神が御子をこの世に遣わされた目的は、わたしたち人間の罪の代わりに、イエスを十字架につけて贖<sup>あがな</sup>わせるためでした。イエスは神の御心を理解し、十字架の死に至るまで、へりくだり、従順に従われました。イエスの従順さ、へりくだりがなければ、わたしたちに救いの道は開かれなかったのです。

さて、日本人は、面子やプライドによくこだわると言われます。人の置かれている立場を理解して接することは、人間関係においてとても大事です。相手の顔をつぶさないように配慮することは、良好な人間関係を築くことになります。ただ、自分があまり面子やプライドに執着しすぎると、謙遜になることができず、相手に尊大な印象を与えることになってしまいます。

イエス・キリストのへりくだりは徹底したものでした。「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、……へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした」（フィリピ 2:6-8）。イエスのへりくだりがなければ、わたしたちに救いの道は開かれなかったのです。

それゆえ、聖書は、「誇る者は主を誇れ」（I コリント 1:31）と言います。わたしたちが本当に誇るべきものは自分自身ではなく、わたしたち人間のために、神の身分でありながらへりくだり、わたしたちの罪の代わりに十字架についてくださった救い主イエスをわたしたちは誇るべきです。そして、わたしたちは謙遜ということ、イエスが最後まで神に従ったその姿から学びたいものであります。

今年のクリスマスを、皆さんが豊かにお迎えになられますよう、お祈りさせていただきます。

## ダカールのクリスマス

ダカールは西アフリカにあるセネガル共和国の首都であり、アフリカ大陸の最西端にあります。私は2010年と2011年のクリスマスを手カールで迎えました。2012年のクリスマスに前に私はセネガルを離れ日本に帰国しましたが、11月上旬のダカール市内のスーパーには、クリスマスプレゼント用のおもちゃやデコレーションがすでに賑やかに並んでいました。

12月のダカールは乾季で雪も降らなければ雨も降りません。ハルマッタンと呼ばれる北風が吹いて、サハラ砂漠から運ばれた砂埃が舞います。1年の中で涼しい時期ではありますが、日本人ならせいぜい薄めの長袖1枚で十分という気温です。しかし、セネガル人にとっては十分に冬のように、ダウンジャケットを着たり、マフラーをしている人を見かけます。ダカールの街には、いたるところにバナバナと呼ばれる行商人がいます。バナバナは食料品から電気製品までありとあらゆるものを抱えて通行人や車に声をかけていますが、この時期には、クリスマスツリーを販売するバナバナも登場します。

ダカール市内で最もクリスマスを感じさせられる場所の1つは中心街にある大統領官邸前から延びるレパブリック通りのイルミネーションではないかと思ひます。ダカール市内でも20時間ぐらひの停電は決して珍しくないのですが、レパブリック通りの並木に飾られたイルミネーションはまるで先進国で見られるもののように豪華で、私はその明るさと美しさに驚くとともに、違和感を覚えたことを記憶しています。

そんなセネガルですが、実は人口の95%がイスラム教徒で、街のいたるところにモスク（イスラム教の寺院）を見かけます。クリスチャンは人口の約5%で、その多くはカトリックです。12月25日はセネガルの休日になっていますが、レパブリック通りのイルミネーションを目にすることも、スーパーでクリスマスプレゼントを買うこともない大多数のセネガル人にとっては、クリスマスは1つの休日にすぎないのかもしれない。

フランス語が公用語のセネガルで、私は英語で礼拝を行うプロテスタントの教会に通っていました。礼拝はインターナショナルスクールの体育館を借りて行っていたので12月といってもクリスマスツリーも飾りも何もありません。しかし、子供達によるミュージカル風の生誕劇は素晴らしく、また10カ国以上の国籍からなる聖歌隊が讃美歌を歌うクリスマス礼拝が私にとっての一番のクリスマスの想い出です。そこがどんなところなのか全く想像もできなかった、日本から遠く離れたセネガルでしたが、そこにも教会があつて、イエス様の誕生を祝うクリスマスと一緒に祝う人達に出会うことができ、私のダカールのクリスマスはとても祝福されたものでした。

経堂バプテスト教会



## クリスマス集会のご案内

### ★クリスマス礼拝

2012年12月23日（日） 10：30～12：00

### ★クリスマス・イヴ礼拝

2012年12月24日（月） 18：00～19：00

特別プログラム：グルッペ・ズインゲンによる

A・カブレのミサ まいや たけひこ  
指揮 米谷 毅彦

### ★キャロリング

2012年12月24日（月） 19：30～19：45

教会で心に残るクリスマスのひと時を過ごしませんか？  
教会員一同心よりお待ちしております。



☆元旦礼拝 1月1日（火） 11：00—12：00

☆新年礼拝 1月6日（日） 10：30—12：00

★今年も「教会短信」を読んでくださいまして、ありがとうございました。

次号は2013年 2月発行予定です。

## 日曜日は教会へ集会案内

主日礼拝	日曜日	午前10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前11時45分～12時30分
青年科・成人科		
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時30分～ 2時30分
聖書研究・祈祷会	水曜日	午後 7時30分～ 8時30分



## 経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。